

事業コード	H16-建-継-26			区 分	国庫補助・県単独
事業名	広域基幹河川改修事業			部 局 名	建設交通部
事業種別	河川改修			課 室 班 名	河川課 河川海岸防災班 (tel) 2516
路線名等	一級河川 福士川			担当課長名	進藤 鋼
箇所名	秋田県鹿角市花輪字下夕町～福士川			担当者名	主幹 佐々木 和雄
総合計画との関連	政策コード	C	政策名	快適で安全な生活を支える環境づくり	
	施策コード	02	施策名	災害に強い県土づくり	
	目標コード	06	施策目標名	河川整備率	

1. 事業の概要

事業期間	H14～H23(10年)	総事業費	31.28億円	国庫補助率	1/2		
事業規模	計画高水流量 100m ³ /s、築堤 L=2,516m、掘削 V=16,600m ³ 、護岸工 A=9,200m ² 、延長 L=1,258m、車道橋3橋、床止工3基、樋管工13基						
事業の立案に至る背景	福士川は鹿角市の中心地である花輪の市街地を横断している一級河川である。福士川は急流河川かつ天井河川となっており、明治36年・昭和38年・昭和50年・昭和55年に水害を受けており、特に昭和38年の水害はこの地域での戦後最大の規模であった。これを基に抜本的な治水事業として昭和60年より福士川放水路に着手し、平成12年度に完成している。しかし治水上最重要区間である市街地内の改修には未着手であることから、地元より強い要望を受け、第1期工事として整備するものである。						
事業目的	昭和38年の洪水規模相当の流量に対応した断面を確保し浸水被害を防止する。地元住民が水に親しめるような環境に配慮した川づくりを行う。						
事業費内訳 事業内容	(単位:千円)						
		全体	H15年度迄	H16年度	H17年度	H18年度以降	
事業費内訳 事業内容	事業費	3,128,000	114,000	50,000	120,000	2,844,000	
	経費内訳	工事費	617,400				617,400
		附帯工費	453,400				453,400
		用補費	1,836,500	11,790	50,000	120,000	1,654,710
	財源内訳	測試費	220,700	102,210			118,490
		国庫補助	1,564,000	57,000	25,000	60,000	1,422,000
		県債	1,424,000	51,200	22,500	54,000	1,296,300
その他							
一般財源	140,000	5,800	2,500	6,000	125,700		
事業内容		用地測量 補償調査 施設設計	用地補償	用地補償			
事業推進上の課題	特になし。						
上位計画での位置付け	あきた21総合計画の中で河川の氾濫から人命や財産を守り、安全で安心な地域をつくる河川改修の推進に位置付けられている。また、鹿角圏域河川整備計画にも位置付けられている。						
関連プロジェクト等	特になし。						
事業を取り巻く情勢の変化	当該区間は、住宅密集地を流れる河川であり、過去に洪水被害が発生していることから、地元からの改修要望が非常に高く早期完成が必要である。						
事業効果把握の手法及び効果	指標名	河川整備率			データ等の出典	県河川課	
	指標の種類	成果指標 (業績指標)					
	指標式	河川整備率 = 改修延長 / 要改修延長					
	目標値 a	43.8					
	実績値 b	44.2					
達成率 b/a	100.9%			把握の時期	16年 3月		

前回評価結果等	選定または継続	改善	見直し	保留または中止
	指摘事項			
	指摘事項への対応			

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容（特記事項）	評価点
必 要 性	平成12年に福士川放水路が完成しているが、治水上最重要区間である市街地区間の改修には未着手であり治水安全度が低いため、地元より早期完成が望まれている。	点 3.5
緊 急 性	現況河川の流下能力が低いという天井河川であるため、氾濫した場合の市街地地区の被害は甚大である。また花輪を縦断する国道282号線を分断し、交通にも多大な影響を及ぼす恐れがある。	点 1.5
有 効 性	【整備効果】 堀込み河道とすることにより天井河川を解消し、昭和38年の水害規模の流量を流下させることができる。	点 2.0
効 率 性	【費用対効果】 事業の費用便益比は8.3であり、効率性は高い。 【コスト縮減の取り組み状況】 従来の護岸より安価な護岸ブロックの使用によりコスト縮減を図る。	点 1.1
熟 度	【地域の状況】 地元沿川自治会より河川改修事業に対して強い要望がある。 【事業進捗の見込み】 県道橋かけ替えについては都市計画事業と連携を図りながら平成20年度から本格的に工事着手を予定している。 【環境対策】 河道掘削時に発生する石材を利用し、景観に配慮した護岸とする。また、散策路や階段を設ける等、水に親しめるような川づくりを行う。	点 1.0
判 定	ランク（ ○ ） 地元からの要望が高く、重要性、事業の有効性、効率性等から事業の必要性は高く評価できるものとする。	点 9.1
総合評価	<p>継続 改善して継続 見直し 中止</p> <p>各観点の評価結果から、事業実施箇所としての優先度は高く、事業は継続すべきと考える。</p>	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等（対応方針）

引き続きコスト縮減に留意し、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の評価および対応方針を可とする。

評価種別 新規箇所 (継続箇所) 事業コード (H16-建-継-26) 箇所名 (福士川 鹿角市花輪)

適用事業名 河川改修事業

1. 評価内訳

観点	評価項目 細別	評価基準	配点	評価点	摘要	
必要性	想定氾濫区域内の状況					
	浸水戸数	50戸以上	10	10		
		49～10戸	7			
		10戸未満	3			
	浸水面積	60ha以上	10	7		
		59～10ha	7			
		10ha未満	3			
	重要な公共施設	3施設以上	5	5		
		2～1施設	3			
	整備計画の策定					
	関係者、関係機関との調整	整備計画策定済み	5	5		
		協議中であるが特段問題ない	3			
		策定に着手していないが予定がある	1			
	事業の進捗状況					
進捗率	計画より進捗している	5	3			
	概ね進捗(90～100%未満)	3				
	計画より遅れている(90%未満)	1				
今後の進捗見込み	課題は解決済みで順調な進捗が見込まれる	5	5			
	将来的な課題はあるが当面進捗に影響がない	3				
	課題は解決の見込みが無く事業が停滞する	1				
	計		40	35		
緊急性	災害発生の危険度					
	改修目標流量に対する 現況流下能力	40%未満	10	10		
		40～59%	7			
		60%以上	3			
	秋田県水防計画					
重要水防地域	評定基準区分A	5	5			
	評定基準区分B	3				
	計		15	15		
有効性	上位計画への貢献度					
	あきた21総合計画	施策目標の中核事業であり貢献度が高い	5	5		
		施策目標に間接的に貢献する	3			
		施策目標とは別のその他関連事業である	1			
	河川整備の有効性					
	安全度	災害防止等効果が発現する	5	5		
		災害防止効果は現状と変わらない	2			
	親水性	安全に川と親しむ場として利用が見込まれる	7	7		
親水性は現状と変わらない		3				
地域開発の状況	都市計画区域の存する地域	3	3			
	地域開発の計画がある	1				
	計		20	20		
効率性	事業の投資効果					
	費用便益比(B/C)	2.0以上	5	5		
		1.0以上～2.0未満	3			
		1.0未満	1			
	事業実施コストの縮減					
	該当項目数	3項目以上	5	1		
		2項目	3			
無しまたは1項目		1				
当初計画との比較						
当初計画事業費からの縮減	減少または10%未満の増加	5	5			
	10%以上30%未満の増加	3				
	30%以上の増加	1				
	計		15	11		
塾度	環境との調和への配慮状況					
	環境保全への配慮	十分に配慮されている	5	5		
		配慮が不十分で検討している	3			
		特に配慮はない	0			
	地元との合意形成の状況					
	地域住民の事業実施の意向	意向が強く要件の同意をクリアしている	5	5		
意向が強く要件の同意を概ね得ている		3				
意向が一部で強いがまた要件の同意は得ていない		1				
	計		10	10		
	合計		100	91		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	合計点	摘要
	優先度がかなり高い	80点以上	91	
	優先度が高い	60点以上～80点未満		
	優先度が低い	60点未満		